


事業概要【農村まるごと田園博物館プロジェクト拠点施設等整備事業】

申請者	福井県池田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,970,987千円 (95,318千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に点在する貴重な農村文化資源を収集・研究、展示、発信、交流し、周遊型観光を活発化させるためのコア機能を有する施設を新設する。 ・農村文化の「経験」「学習」型観光の展開を可能とし、長期宿泊を伴った滞在型の観光交流を誘発することで、地域の観光消費額を増加させ、関係人口・交流人口の拡大や、地域でのしごと創生に結び付ける。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 町全体を「農村まるごと田園博物館」として位置づけ、①点在する農村文化資源を収集・分類する研究拠点、②デジタルとアナログのハイブリッドによる世界への発信拠点、③資源を活かした地域内外の人と学びの交流拠点、④池田町全体の農村文化資源を観光化する戦略拠点の4つの機能を有したコア施設を、町の中心部に新設する。 これを核とした周遊型観光事業を展開し、民俗芸能や景観、生活文化といった池田町の地域風土を最大の戦略資源とした、研究から観光までの幅広い誘客を通して、関係人口や交流人口拡大の加速化を目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】 池田町農村文化資源情報拠点「ツドエル」整備事業 ・施設整備 154,488千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>町内や隣接自治体に所在する資料館や図書館との連携で企画展示や交流イベントに取り組む。町民や町内小中学校の生徒、町外観光者との交流拡大を図り、町民主体による活動の活発化につなげる。</p> <p>施設指定管理者や観光公社等との協働で企画に取り組み、ローカルテレビによる情報発信環境を充実させることで、町内周遊型観光の促進に伴う観光消費額の増加に寄与する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 (+1億6千万円) ②施設来館者数 (+7,500人) ③民俗芸能イベント来場数 (+350人) ④池田町をテーマとした論文数 (+40本) ⑤町内散策によるバスツアー団体数 (+33団体) ⑥インバウンド来訪者数 (+300人)

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【池田町木のエネルギーセンター整備事業】

申請者	福井県池田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	438,690千円 (223,583千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	木のエネルギーセンターの建設及びその供給先における施設整備を行い、過疎高齢化が進んでいる特別豪雪地帯である池田町において、地域エネルギーを活用した地域内経済循環を進めることで、地域内の林業の活性化及び林業就業者の拡大を目指すものである。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域に豊富な木質バイオマス資源を利用した地域熱による冷暖房空調を行う施設を整備する。 過疎高齢化が進んでいる特別豪雪地帯である池田町において、地域の木材のチップのバイオマス熱エネルギー供給システムを導入することにより、化石燃料購入等による外部経済流出を防止し、かつ地域経済循環を行うとともに、林業・関連産業の従事者を増やすことで、利用が十分にされていない木材利用と森林整備の向上を図る施設として活用するものである。</p> <p>【拠点整備事業経費】 木のエネルギーセンターの建設及びその供給先の施設整備 ・施設整備 191,196千円 ・用地造成 22,756千円 ・トラック整備 9,031千円 ・原材料試験 600千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>町内の森林組合と連携し、池田町の林業収益性向上の観点から、C材利用方法を含めた地域木材の生産から流通のあり方を検討し、地域資源の効率的な活用に取り組む。 県や地域シンクタンク等と協働し、バイオマス熱利用と林業振興のあり方についての提案や人的資源等の支援による事業推進に取り組む。</p>					KPI	<p>①地域の林業就労者数 (+6人) ②森林整備面積 (+30ha) ③チップ需要量 (+600t) ④視察利用 (+600人)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【池田町木材資源高付加価値化事業】

申請者	福井県池田町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	96,792千円 (74,792千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<p>・地域木材を最大限利用し、チップの安定供給、未利用の熊剥ぎ材や支障木の有効活用、冠山峠道路の開通によりアクセスが倍増している中京方面への効果的な域外販売、山林所有者への還元拡大等を行い、循環型社会づくりを進めることで、地域内の林業の活性化及び林業就業者の拡大を目指すものである。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 利用価値が低く林内に放置されてきた端材（C材）の新たな利用価値を生み出し、『森林資源の高付加価値化』『山主への新たな所得向上』『チップ利用による脱炭素化』を目指すチップ材製造施設を整備する。 過疎高齢化が進んでいる特別豪雪地帯である池田町において、地域の木材のチップ材製造を進めることにより、化石燃料購入等による外部経済流出を防止し、林業・関連産業の従事者が増え、利用が十分にされていない木材利用と森林整備の向上を図る施設として活用するものである。</p> <p>【拠点整備事業経費】 チップ材製造施設を整備 ・設備整備 74,492千円 ・建屋整備 12,000千円 ・運搬車整備 10,000千円 ・チップ品質試験 300千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>町内の森林組合と連携し、池田町の林業収益性向上の観点から、C材利用方法を含めた地域木材の生産から流通のあり方を検討し、地域資源の効率的な活用に取り組む。 県や地域シンクタンクや住民等と協働し、チップの活用と林業振興のあり方についての提案や人的資源等の支援による事業推進に取り組む。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①地域の林業就業者数 (+ 8人) ②獣害木・支障木整備面積 (+ 8 ha) ③チップ域外販売量 (+ 150 t) ④原木調達量 (+ 1,440m³)</p>